

□ 要請番号 (JL04518A05)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|----------|------|------|-----------|------|-----------------|
| モンゴル | H105 看護師 | | 個別 | 交替 4代目 | 2年 | ・2018/4 ・2019/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

国立がんセンター

3) 任地 (ウランバートル) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同センターはがんの研究、医療従事者の研修、医療サービスの提供を目的とし、1961年に設立された国内で唯一、がん患者を専門に診るセンターである。手術、放射線療法、化学療法、手術後のケア、緩和ケア等のほか、がん予防の啓発活動、教育・研修を行っている。疾患の傾向は、肝臓癌が最も多く、続いて胃癌、肺癌、食道癌、子宮頸癌が多い。医師130名、看護師154名、その他職員190名、病床207床、年間予算は約9億円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同病院では質の高い看護サービス提供をめざし、日本式の看護計画、看護記録、看護ケアの導入に取り組んでいる。現在活動中の青年海外協力隊(JV)(2018年3月終了予定)は、患者の立場に立った看護を行う姿勢、患者への接し方や、委員会活動の支援、看護計画、看護記録、感染対策、5Sを指導している。歴代のボランティアの活動により、委員会活動の自主的な運営等改善がみられているものの、周手術期のケアなどは十分ではなく、活動を継続することで、技術や考え方を定着・発展させるため、後任JVが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.患者の状態を把握し適切な看護ができるよう、セミナーや勉強会を通じ指導する。
- 2.前任者が実施している看護記録(SOAP)を正しく記載するため指導を行う。
※患者の病態把握のスキル、アセスメント能力の向上に対する助言が求められている。
- 3.患者家族への手術前後の対応に関する指導方法について、同僚に助言する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンタ、スキャナ、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート:看護部長(大卒、実務経験37年、女性、50代)

主な活動対象者:

主任看護師(実務経験25年、女性、40代、大卒)

主任看護師(実務経験20年、女性、40代、大卒)

他同僚(全7科+外来1科の看護師)、院内の患者とその家族

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

[参考情報]：

- ・がんの術前術後ケアの経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

同国では保健医療職のボランティアの分科会が定期的にセミナー等を実施しており、同会での連携活動も期待される。